

フレーズ & セントラル ①

「サイ」とは「口」の元になつた形（文字）のこと。この本では、白川静の著作から「口」や関連のある漢字について解説した文章を抜き出し、金子都美絵が絵を添えて再構成したものです。

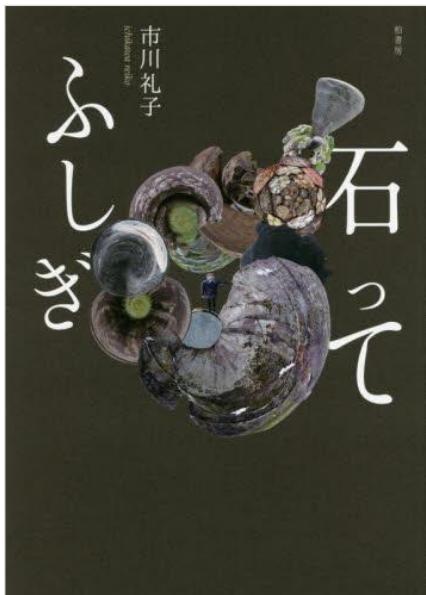
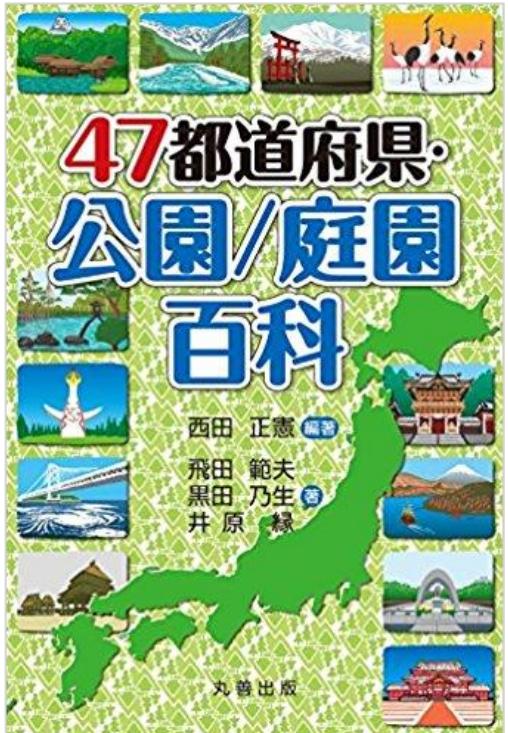
白川龍によれば、「口」とは神への祈りを込めた祝詞を入れておくるための器だといいます。そう考えることで、「口」という形が含まれている他の様々な漢字に込められた意味も、おのずから明らかになってしまいます。この本を読んでいると、たった1文字の漢字から驚くほど豊かな情景が立ち上がりってきて、まるで歌集や詩集を読んでいるような気分でした。私が特に好きなのは、「書」という字です。「書」は記された文字であり、記された言葉は持続的・固定的な呪力をを持つとされました。現代においては、手で文字を書く機会も減り、漢字を思い出せずとも、パソコンが変換してくれます。しかし、たまには古代の人々に思いを馳せつつ、書始めなどしてみようかと思った次第です。(丸山)

WHAT, S ND C ③

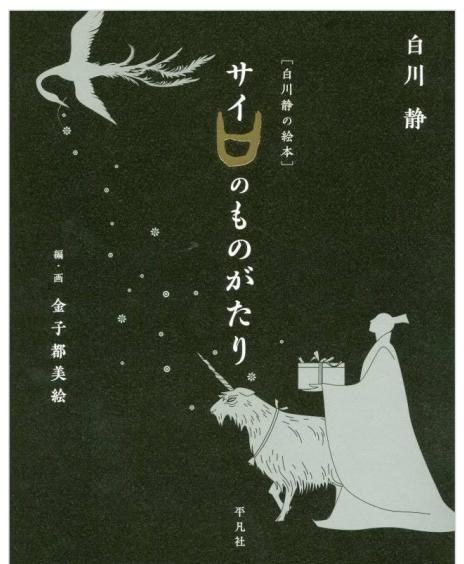
NDCとは簡単にいって、〇～〇の10ジャンルの分類方法のことをいいます。これは図書館の本を分類する際に使われる「日本十進分類法」について説明します。

に伝えたいこととは?物語を書き続けるコツなど、気になる一面を覗くことができます。触れたことのある作品もこの本の後に読み返すとまた違った楽しみ方があり、読んだことのない作品も興味がわいてきます。「人との出会いがすべて何かにつながる」「必要なのは、はじめる」となどの言葉は普段の生活に響くもの。日頃小説を読まない人でも、啓発本としてもおすすめです。(竹原)

やよいTOPIX 本と出会う。



「文字は、
ニコラの器として生まれた。」



再生館 セレクト

340 事例を厳選し、その魅力と楽し
み方を紹介！公園と庭園は緑と水
の織り成す魅力的な場所で、自然
と触れあうことで私たちの心と体を
癒してくれます。自然公園は近代
化の中で失われてゆく貴重な自然
風景や動植物の保護と野外レクリエ
ーションの推進、都市公園も市民に
癒しの空間を与え、都市環境の保
全、防災空間の確保といった役割を
担っています。また寺社や大名など
が保有していた庭園は、日本人の自
然観や美意識を伝えています。

言われています。この日に、狛犬やお地蔵さまなど、石でできたものに願いをかけながら触ると成就するという話もあるようです。

石の日になんて紹介する本は、『石つてふしき』です。崖から生まれるという球形の石「子生まれ石」といふた不思議な形の石たちや、きちんと造物、神社や道端の石像・石仏など、著者が日本各地を旅して出会った、様々な「石」が写真と共に紹介されています。口絵を見るだけでも「こんな石があるの!!」と驚くこと間違ひありません。

本を片手に石に出会う旅というのも面白いですが、普段気にすることなく通り過ぎていた身近にある石をじっくり観察してみるだけでも新しい発見があるかもしれません。

読書の窓

（再生館戯団） 読者の旅心を搔き立て、一方で環境について考えさせてくれるこの本はあだち再生館の図書コーナーに置いておりますので、ぜひどうぞ。